

(公財) 栃木県学校給食会

1 取組内容

(1) 地場産物を利用した商品の開発および取扱

- ① 給食会独自の開発品（従来からの取扱品並びに市町単位の対応品）・・・資料No.1
- ② 文部科学省の委託事業における開発品・・・資料No.2
- ③ J A全農とちぎ総合販売企画課との連携による開発品とその他メーカー開発品・・・資料No.3

2 学校給食担当者・農政・JA との連携

(1) J A全農とちぎ総合販売企画課との連携（県産冷凍野菜・果物、冷凍液卵等）

3 学校給食への地場産物提供を拡大する上での課題（学校給食会側）

- ① 原料の生産量・価格
- ② メーカーの製造ロット・価格
- ③ 需要者側の使用量（継続的使用）

4 課題を解決するための方策の提案

上記①～③の課題は、生産者・製造者・需要者の間で関連する問題であるので事前に十分な打合せが必要である。特に価格については、地場産品は国産品や輸入品に比べ高くなる傾向は避けられないので地場産品利用率50%を達成するためには給食費の問題をセットで考える必要があると思われる。